

働く男のライフスタイル情報紙

Biz [ビズスタ] Life Style 特別版

2016 07

『Biz Life Style』は東京、神奈川、名古屋、関西、
京都・滋賀、仙台、福岡にて55万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005
企画・制作／株式会社ディリースポーツ案内広告社
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TX TOWER UENO 14F
© 2016 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD

美学を大切に。
カルティエ。



ドライブ ドゥ カルティエ
WSNM0004
40mm×41mm、自動巻き、ステンレススチール
¥766,800(税込)

Eric Sauvage © Cartier

My Favorite Life Style

| クレドゥカルティエ ウォッチ



© Cartier

WSCL0007
40mm、自動巻き、ステンレススチール
675,000円(税込)
※9月発売予定

伝統を守護しつつ、革新を切り拓く。受け継ぐべきものを受け継ぎつつ、新たな創造に躊躇しない。カルティエが昨年発表した「クレドゥカルティエ」は、同メゾンが自指す方向を明確に指示したタイムピースだ。発売前から各メディアを賑わせ、店頭に並んだと同時に「世界の定番」化したのは、記憶にも新しい。

クレドゥカルティエは、サン・トス・タンク、パロン・ブルー・ドゥカルティエに続く4つの男女共用の定番コレクションとして誕生した。やわらかなカーブ、美しいライン、穏やかな丸みを帯びた側面。その完成された美には惚れ惚れするが、手に取てみると、かつて欧洲の名だたる時計師たちを愕然とさせた「ケーラグの融合」がデザイン上の基礎となっていることが分かる。つまり、どれだけ現代的な美をまとおうとも、カルティエの本質は変わっていないということになる。

さて、いざ身に付けてみると、今度は思わずのぞき込んでしまう。ケースが、何とベゼル(風貌の周囲にあるリング)まで一体化されておりストラップ以外のすべてが統合されているのだ。モデルによつてはさりげなくダイヤモンドが輝くなど、思わず魅入られる美の世界が表現されている。

コレクション名にある「クレ」とは、「フランス語で「鍵」を意味する。これは、極めて特徴的な角型のリューズ(ゼンマイを巻くつまみ)を指している。デスククロックで見る突起物が腕時計に採用されたことだけでも斬新だが、これが実に優雅で、現代的に感じられるのだから不思議なものだ。またこのリューズの採用によって、まるで「デスククロック」の鍵を巻き上げるような新しいジェスチャーが生まれた。小さくても、カルティエの革新性の象徴とも言えるパートなのだ。



WJCL0038
31mm、18Kピンクゴールド、
ダイヤモンド
3,196,800円(税込)

© Cartier



WJCL0034
31mm、18Kピンクゴールド、
ダイヤモンド
2,959,200円(税込)

© Cartier

1847という数字は、中ページの冒頭で紹介した通り、カルティエの創業年を意味する。約160年以上にわたる時を経て、いや真のウォッチメーカーへと昇華したカルティエが、このコレクションをどう位置づけているのかがお分かりのはずだ。

思わずため息が出るような仕上げの精度、時代の流れの中で磨き上げられた「デザインバランス」。時計だけで完結するのではなく、ほかのファッショニアアイテムとの調和にまで目が配られる。だから不思議なものが生まれた。小さくても、カルティエの革新性の象徴だ。またこのリューズの採用によって、まるで「デスククロック」の鍵を巻き上げるような新しい遊びを手に取り、文字盤、ベゼル、リューズ、そしてケースの裏までじっくりとご堪能いただきたい。

Clé de Cartier クレドゥカルティエ

「眞のウォッチメーカー」と呼ぶに相応しい唯一のメゾン

ジエラード・ルードスタートした

カルティエは、100年もの時

流れの中で、トレンドを牽引する

傑作を多数生み出してきた。そ

れは、単に「時刻を示す機械」で

はなく、自らの美と知性を磨き

上げたいと願う人々をウォッチ

の世界に誘い、業界全体を新た

な境地へと導いてきた歴史でも

ある。

高級機械式時計を選ぶ際、そ

の「デザイン性を軽んじる人は、も

はやほほ皆無だろう。中面で紹

介したサントスの完成以降、私

たちは美を愛する対象として時

計を眺めてきた。世界のウォッチ

市場は、貴金属同様に「精巧さと

美しさ」を前提に発展してきた

のだ。

ムーブメントとケースの両方

を自作するマニファクチュール

はいくつかある。しかし、それに

加えて150年以上にわたって各

国の王族をも魅了し続ける「美

しさ」を前提に発展してきた

のだ。

カンパニー」が、高級機械式腕時計の取り扱いを始めたのは、1995年のこと。その後、2005年10月に服飾雑貨のセレクトショップ「スリーク新潟」の誕生に伴い、本格的なスイス機械式時計に出会える専門店として県内ではお馴染みの存在へと成長した。そして先月、コンセプトをより深く味わえるよう、各ブランドごとに専用コーナーを設ける形でリューズの開幕。今月にはカルティエサロンも新規オープンし、独特の優雅で気品に満ちた世界観を堪能できるようになつた。

本誌紹介モデルも含め、「コレクションは充実のひとこと。ぜひ店頭で、魅惑のカルティエ体験を。

Biz Life Style Pick up >>>

「スリーク新潟」のウォッチフロアが大幅リニューアル
カルティエ独特の世界観を堪能できるサロンも新設



THREEC
スリーク新潟

新潟市中央区古町通6-959-2
TEL.025-210-2511
営業時間／11:00～20:00

www.threec.jp/

カルティエ カスタマー サービスセンター
フリーダイヤル 0120-301-757
受付時間／10:00～20:00 無休(年末年始を除く)

www.cartier.jp